(案)

令和6年(2024年)12月 日

横須賀市教育委員会 様

横須賀市学校給食運営審議会
委員長 鈴木 志保子

今後の学校給食費の額について(答申)

本審議会は令和6年9月24日に、横須賀市教育委員会から給食費の額について諮問を受けました。

本審議会では慎重に審議を行った結果、下記のとおり答申いたします。

記

答 申

学校給食の目標は、適切な栄養摂取による健康の保持増進や正しい食習慣の形成、好ましい人間関係の育成等といった食育の推進を図ることにあります。

この目標は、子どもたちが提供された給食をきちんと食べることで初めて達成されるものです。適切な栄養摂取とともに、子どもたちに食べてほしい献立を提供できる学校給食を目指していくべきと考えます。

近年、食材料の物価高騰の中、現状では食材の種類を変えることや、1回の食材の使用量を減らすなどの「献立の工夫」で対応しています。しかし、この対応も限界の状態であり、さらに物価が上昇した際には、現在の学校給食の水準さえ維持できないことが予想されます。

学校給食運営審議会においては、この状況を重く受け止め、本来あるべき給食の継続的な提供を目指すため審議しました。

その結果、改定を行うことはやむを得ないとの結論に至り、給食費の額を別表のとおりとすることが妥当と考えました。

○別表 小学校・中学校・ろう学校・養護学校給食費

(円)

区分	基準回数	1食単価	月額	年額	値上がり額 月額(年額)
①小学校及びろう学校児童	190				
②中学校生徒(1・2年生)	180				
③中学校生徒(3年生)	163				
④養護学校児童生徒	181				
⑤ろう学校幼児	190				
⑥ろう学校生徒 (中学校・高等学校)	190				
⑦小学校及びろう学校教職員	190				
⑧中学校教職員(1・2年生)	180				
⑨中学校教職員(3年生)	163				
⑩養護学校教職員	181				